

4. 市立幼稚園における課題について

(1) 今年度実施事業の現状と課題について

- ①「未就園3歳児クラス」事業の充実について
- ②「預かり時間を午後5時まで延長」について
- ③近隣小学校での「給食体験」について
- ④「合同保育」のためのバス送迎について

(2) 令和3年度の市立幼稚園での予定事業の課題について

- ①3年保育の実施と保育の担い手の確保について
- ②すべての園で、給食センターで調理した給食の提供について
- ③同学年の合同保育を試行的に実施することについて

【答弁（案）】

4. 市立幼稚園における課題についての（1）の①から④と（2）の①から③につきまして、順次お答えいたします。

まず、（1）の①②につきましては、関連いたしますので一括してお答えいたします。

「未就園3歳児クラス」は、6月15日より全ての市立幼稚園で開催しており、市全体で毎日概ね50名前後の参加があります。ほとんどの参加者が、令和3年度入園を希望されており、市立幼稚園の就園につながる機会が提供できていると考えております。また、「預かり保育」につきましては、地域のボランティア人材の方のお力をお借りして実施しております。多い日には市全体で60名以上の利用があり、「5時まで預かってもらえることになって大変助かっている」と好評をいただいております。

次に、③の近隣小学校での「給食体験」についてお答えします。

予定しておりました概ね月2回程度の「給食体験」につきましては、隣接する小学校において幼稚園の子どもたちに給食センターで調理した給食を提供しております。近隣の小学校までの距離が遠い園につきましては、マイクロバス等を活用することや、他の行事と重ねることなどの工夫をして実施しております。

続いて、④「合同保育」のためのバス送迎についてお答えします。

1学期は、臨時休業の関係から実施することができませんでしたが、2学期より、園から園へ子どもたちをバスで送迎し、合同保育を試行的に実施する計画をしています。たくさんの人数で行う園の特色を活かした活動など、子どもたちに魅力的な合同保育について研究してまいります。

次に（2）の①についてお答えいたします。

来年度、3年保育を実施するためには、議員ご指摘の「保育の担い手の確保」が重要であると考えます。今後、免許をお持ちの方や、幼児教育を志す学生等の人材の掘り起こしに加え、講師の勤務条件や待遇などについて、近隣他市の状況も分析・研究し、人員の確保に努めてまいります。

次に（2）の②についてお答えします。

今年6月と7月に関係各課が集まり、来年度からすべての園に給食センターで調理した給食を提供することについて検討を行ったところでございます。安全安心な給食を提供するためには、配送方法やアレルギー対応などさまざまな面で課題がありますが、幼稚園現場の意見も聞きながら、実施に向けて調整をすすめてまいりたいと考えております。

次に（2）の③についてお答えします。

同学年の合同保育を試行することにつきましては、1クラスが10人未満の場合、他園にバスで送迎し、園の特色を活かした合同保育の機会を積極的に設ける事ができるよう、現在、調整をすすめているところでございます。

本市教育委員会といたしましては、市民の皆さまの多様な保育ニーズにお応えするために、市立幼稚園が果たす役割は大きいと考えております。事業をすすめる中で今後の市立幼稚園の進むべき方向性を見極め、より質の高い幼児教育が提供できるよう幼稚園現場を支援、指導してまいりたいと考えております。

以上、お答えとさせていただきます。